

1. 「奈良県スポーツ推進計画（H25～H34）」について

『奈良県スポーツ推進計画』（現行）

＜目指す姿＞ 『生き活きと安心して健やかに暮らせる健康長寿の奈良県』

＜計画期間＞平成25年度から34年度までの10年間

＜基本目標＞ 『だれもが、いつでも、どこでも運動・スポーツに親しめる環境づくり』

（策定5年後の平成29年度に中間見直し）

＜施策の柱、施策の体系＞

I. だれもがいつでも楽しめるスポーツ

➤ すべての人が、スポーツをしたい時に、気軽に行うことができる仕組み作り

(1)総合型地域スポーツクラブによる基盤づくり

- ①スポーツ支援センターの機能の強化
- ②総合型地域スポーツクラブの活動の充実

(2)ライフステージに応じた運動・スポーツの推進

- ①子どもの運動・スポーツの推進
- ②成人期の運動・スポーツの推進
- ③高齢期の運動・スポーツの推進

(3)障害者の運動・スポーツの推進

- ①運動・スポーツに取り組む機会（参加する機会）の充実
- ②障害のある人とない人が交流できる取組みの推進
- ③身近な地域でスポーツができる環境づくりの推進
- ④障害者スポーツ指導者等の養成

(4)スポーツを支える環境づくり

- ①スポーツ指導者の確保、養成
- ②スポーツ情報の提供
- ③スポーツ医・科学によるサポート体制の整備
- ④スポーツ顕彰制度の整備

II. 地域で楽しむスポーツ

➤ 既存のスポーツイベントの一層の活性化をはじめ、奈良県の豊かな地域資源を活用したスポーツの推進

(1)参加型スポーツイベントの実施

- ①参加型スポーツイベントによるにぎわいづくり
- ②自然、地勢、景観等、奈良の特性を活かしたスポーツの推進

(2)スポーツツーリズムの推進

- ①スポーツイベント、プロスポーツ観戦を活用した新たな観光メニューの開発
- ②南部地域、東部地域の特色を活かしたスポーツイベントの開発
- ③ウォーキング、ランニング、サイクリングなどのコース情報の発信

(3)スポーツを支える新たな基盤整備

- ①スポーツを支え、盛り上げる体制の整備

III. あこがれ・感動を生むスポーツ

➤ 競技力の向上とともにプロスポーツなどの観戦の機会づくりの推進

(1)競技力の向上

- ①選手・指導者等の発掘・育成強化に対する支援
- ②トレーニングサポート体制の整備

(2)トップアスリート等との連携によるスポーツの推進

- ①トップアスリートを活用したスポーツイベントの実施
- ②企業、大学等が有する人材の活用

(3)プロスポーツなどの観戦の機会づくり

- ①プロスポーツなどの試合誘致
- ②地域、企業等との連携による支援体制の検討

IV. スポーツ環境の整備

➤ 既存施設の充実と活用をはじめ、身近な公共施設を有効に活用するための環境整備

(1)身近な公共施設等の活用

- ①まち中でのスポーツ環境の整備
- ②学校体育施設等の活用
- ③既存施設の機能拡大

(2)既存スポーツ施設の活用方法の検討

- ①橿原公苑施設の計画的整備検討
- ②市町村施設等の検証・整備検討

(3)新たなスポーツ施設の研究

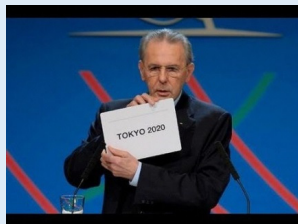
- ①新たなスポーツ施設の研究

奈良県スポーツ推進計画の中間見直しについて

2. 「奈良県スポーツ推進計画」策定（H25）からこれまでの取組、取り巻く環境

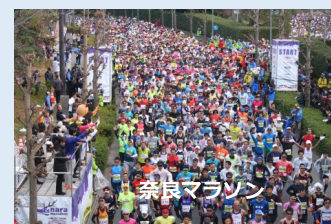
スポーツを取り巻く環境の変化、動向

- ◆ 2019年ラグビーワールドカップ、2020年東京オリ・パラ、2021年WMG関西の開催決定
- ◆ 国は、省庁の枠組みを越え、総合的にスポーツ施策を推進するためにスポーツ庁を創設(平成27年10月)
- ◆ 「第2期スポーツ基本計画」を策定(平成29年3月)
- ◆ 本県における国体の2巡目開催(13年後を想定)



奈良県における取組

- ◆ 総合型地域スポーツクラブの設立・活動促進
(クラブ数55(H24)→61(H28)、クラブ会員数10,355人(H24)→13,814人(H28))
- ◆ 奈良マラソンの開催(冬の代表的なイベントとして定着)
- ◆ スポーツイベントによる南部・東部地域の振興
- ◆ スポーツアカデミー事業の推進(幼児運動プログラムの実施)
- ◆ スポーツ施設の整備(スイムピア、明日香庭球場クラブハウスなど)
- ◆ オリ・パラ等国际大会のキャンプ地・合宿の招致



奈良県スポーツ推進審議会での主な意見

- 「スポーツの価値を高め、少しでもスポーツに時間を割こうというライフスタイルにすることが重要」
- 「子どものスポーツが重要。子どもにスポーツの楽しさを教えられる指導者の育成・確保が課題」
- 「ライフステージに応じたスポーツ活動の推進、健康長寿の促進のためには、いかにしてスポーツに対して無関心な方々を動かし、実施率を上げるか、が重要」

平成29年3月24日開催

**全ての県民が、スポーツの価値を見だし、
「スポーツの楽しさ」を実感できるようにすることが必要**

その上で、県民の様々なライフスタイルに応じたスポーツ活動の受け皿として地域スポーツの推進を図る

奈良県スポーツ推進計画の中間見直しについて

3. 「奈良県スポーツ推進計画（H25～H34）」の中間見直し（骨子案）

【目指す姿】

生き生きと安心して健やかに暮らせる健康長寿の奈良県

【基本目標】

だれもが、いつでも、どこでも スポーツに親しめる環境づくり

【基本目標を実現するための参考指標】

○1日30分以上のスポーツを週2回以上実施し、1年以上継続している人の割合

●1年間にスポーツをしない人の割合（H29:40%→H34:30%）

施策の柱・体系（計画の見直し）

エ ラ イ フ ス テ ー ジ ・ ラ イ フ ス タ イ ル に 応 じ た ス ポ ー ツ の 推 進	1 だれもがスポーツに親しめる地域スポーツの推進	指標（案）
	> <u>すべての人が、気軽にスポーツに親しめる地域の環境づくり</u>	○総合型地域スポーツクラブの会員数 ○総合型地域スポーツクラブ数 ○スポーツイベントの参加者数（総合型交流大会） ● 総合型地域スポーツクラブ育成率 <small>（※クラブを有する市町村数／県内全市町村数）</small> ● 法人格を有する総合型地域スポーツクラブの割合 ● PDCAサイクルにより運営の改善等を図る総合型地域スポーツクラブの割合 ● 障害者スポーツ大会における参加者数 ● 障害者スポーツ指導者数 <small>（日本障害者スポーツ協会公認）</small>
	(1)総合型地域スポーツクラブによる 地域スポーツの推進 ①総合型地域スポーツクラブの活動の 質的 充実（多世代、多種目、 多志向 ） ② 総合型地域スポーツクラブへの支援体制の強化	(2)ライフスタイルに応じたスポーツの推進 ①ビジネスパーソンのスポーツの推進 ②子育て世代のスポーツの推進 ③ 女性がスポーツに取り組みやすい環境づくり ④高齢者の 健康スポーツ の推進
2 子どもを健やかに育むスポーツの推進	指標（案）	
> <u>スポーツを通じた人間形成、未来を担う“ひと”づくり</u>	○1日に1時間以上、運動・スポーツをする児童（小5）の割合 ○1日に1時間以上、運動・スポーツをする児童（中2）の割合 ● 子どもの体力テスト値（小5、中2）（全国値を上回る）	
(1)幼児期のスポーツ（運動遊び）の推進 ①幼稚園・保育園でのスポーツの推進 ②地域・家庭でのスポーツの推進 ③スポーツ医・科学の活用	(2)子どもの体力向上方策の推進 ①学校体育・保健活動の充実 ②学校部活動・地域部活動の充実	(3)子どものスポーツ活動環境の充実 ①子どもにスポーツの楽しさを伝える指導者の育成・確保 ②ファミリーでスポーツに親しむ機会づくり
3 県民に夢と感動を与える競技スポーツの推進	指標（案）	
> <u>競技力の向上とともに、プロスポーツなどの観戦の機会づくりの推進</u>	○スポーツ指導者（日体協公認） ○国体の総合成績 ○プロスポーツ等の試合数 ● 全国大会1位の奈良県選手の数・団体数	
(1)競技力の向上 ①選手・指導者等の発掘・育成強化に関する支援 ② スポーツ医・科学等を活用したサポート体制の整備 ③ パラスポーツにおける競技力向上	(2)トップアスリート等との連携によるスポーツの推進 ①トップアスリートを活用したスポーツイベントの実施 ②企業、大学等が有する人材の活用	(3)プロスポーツなどの観戦の機会づくり ①プロスポーツなどの試合誘致 ②地域、企業等との連携による支援体制の検討
	指標内 ○現計画の指標の継続 ● 新指標の検討	

奈良県スポーツ推進計画の中間見直しについて

3. 「奈良県スポーツ推進計画（H25～H34）」の中間見直し（骨子案）

施策の柱・体系（計画の見直し）

イラストに
対応した
スポーツの
推進

4 スポーツ施設の整備・活用

➤ 既存施設の機能充実、有効活用や新たなスポーツ施設整備を検討することで、様々なスポーツに親しむ機会づくり

(1) 既存施設の中長期的なファシリティマネジメントの推進

- ① 既存施設の機能拡大、長寿命化の促進
- ② スポーツ施設のバリアフリー化の促進

(2) 身近な施設の活用

- ① オープンスペースの活用等まち中でのスポーツ環境の整備
- ② 学校体育施設等の活用

(3) 県内スポーツ施設の整備・運営の検討

- ① 県内スポーツ施設の機能・役割分担の検討
- ② プロスポーツや大規模スポーツイベントの開催が可能な地域のにぎわい、産業の核となるスポーツ施設の検討
- ③ 国体2巡目開催を見据えた施設整備の検討
- ④ 民間活力の積極的な活用

指標（案）

- 県立スポーツ施設の利用者数

指標内
○ 現計画の指標の継続
● 新指標

II
スポーツ
を通じた
地域振興

1 スポーツによる地域のにぎわいづくり

➤ スポーツによる、地域への誘客促進、地域間交流による地域の活性化

(1) 参加型スポーツイベントの実施

- ① 季節に応じたスポーツイベント等の展開
- ② 自然、地勢、景観等、奈良の特性を活かしたスポーツの推進

(2) スポーツツーリズムの推進

- ① スポーツイベント、プロスポーツ観戦を活かした滞在型観光の促進
- ② 南部地域、東部地域の特色を活かしたスポーツイベントの展開
- ③ スポーツ合宿の誘致
- ④ スポーツイベント等による海外からの誘客促進
- ⑤ サイクリングなど周遊型観光ルート・スポットの活用

指標（案）

- 「奈良マラソン」の沿道観客者数
- 滞在型スポーツイベント数・県外からの参加者数
- スポーツ合宿でスイムピア奈良を利用する人数

2 東京オリンピック・パラリンピック等を契機としたキャンプ地、強化合宿の招致

New

➤ キャンプ地、強化合宿の招致により、継続的な国際交流、友好提携の締結

(1) スポーツによる継続的な国際交流の促進

- ① 国際競技大会の事前キャンプや強化合宿の継続的な受入れ
- ② ジュニア選手のスポーツ交流等を通じた人材育成
- ③ 選手、関係者を通じた奈良の魅力発信

(2) 強化合宿等を契機とした友好提携の締結

- ① 姉妹都市・友好都市交流を活用したスポーツ・文化等の振興

指標（案）

- 事前キャンプ、強化合宿受入数
- 友好提携の締結数

スポーツ推進計画の推進体制の構築

計画推進のエンジンとなり、全県的に実践活動を盛り上げるための**実践協議会**の設置・運営を計画。

➤ 毎年度、計画の進捗状況等について検討・評価のうえ情報の共有を図り、新規の取組や事業目標等の見直しを行う

➤ 構成員各位が積極的・主体的に実践活動を展開。その成果を広く情報発信するなど、県内の多様な主体が連携・協働し、“オール奈良”による実践活動につなげる

PDCAサイクルによる進行管理

P

◇ 行動計画の策定

D

◇ 各主体による実践活動

G

◇ 計画・目標の進捗評価
◇ 成果発表、課題等の検証

A

◇ 事業目標の見直し
◇ 新規事業等の検討・実施

構成員イメージ

スポーツ推進審議会委員、スポーツアカデミー検討委員会委員、総合型地域スポーツクラブ代表、県内プロチーム代表、企業・団体 等

計画
推進